

第6回福祉のネットワークづくり交流会の企画（案）

2012.6月 NPO 法人まちづくり学校

【開催目的】

区内の福祉ネットワークを活かし、互いに協力しあうことで解決できそうな課題・具体事業のアイデアを見出す。

【交流会の進め方】

1) 話題提供として2つのテーマに関するパネルトークを実施（90分）

⇒いきなりアイデア出しを行うのではなく、事務局側で考えている江南区で取り組むべき2つのテーマについて、話題提供としてパネルトークを実施する。

<取り上げるテーマとパネリスト候補者>

①地域福祉の潜在的ニーズを浮かび上がらせる「地域福祉マップづくり」とは？

パネリスト 中村はまさん（西区緑ヶ丘自治会）
佐藤信三さん（亀田第6区町内会）
コーディネーター 森下英矢さん（新潟お笑い集団 NAMARA）

②ボランティアに参加する“若者”の生の声を聞こう！

パネリスト 掛川洋規さん（新潟大学大学院生）
渡辺百枝さん（敬和学園大学4年）
コーディネーター 森下英矢さん（新潟お笑い集団 NAMARA）

⇒1テーマ40分程度。休憩無しで2部構成で実施。

2) 地域福祉として「あったらいいな・やってみたい」を話し合う（45分）

⇒4～5グループ程度に分かれて、ミニ茶話会形式で意見交換を行う。（45分程度）

⇒話し合うテーマは「江南区地域福祉で“あったらいいな・やってみたい”こと」。

※ パネルトークのパネリストは各グループに入ってもらおう。

※ まちづくり学校メンバーが進行・記録を担当。

※ ワークショップ形式での意見出しではなく、フリーディスカッションでOK。

→この場は参加者の「生の声」を集めることが目的。ここで出された意見をベースにしてどのような具体事業を行うのかは、事務局側で検討する。

→具体事業の内容については、区役所だよりや学びやニュースでお知らせする。

⇒各グループで話し合われた内容を全体で共有（20分程度）

【実施スケジュール】

5月下旬 企画運営委員会の開催

6月上旬 企画内容の決定、広報ツールの作成、広報開始

7月上旬 交流会開催